

陶小だより



綾川町立陶小学校
令和5年4月号

校長

「自分も人も大切に。未来に向かってチャレンジし続ける陶笑学校」

今年度、上記のように、陶小学校の学校教育目標を一新しました。

本校校長として着任してからのこの2年間、コロナ禍前まで大切にしてきた「交流」や「体験」活動に様々な制限がかかり、見通しが持てない状況の中、改めて学校の役割、子ども達につけるべき力はいかにあるべきかに向き合うことができました。

そこで、この変化の激しい、何が正解なのかが分からない社会を生き抜く力として、未来の自分のために次の4つのことを特に大切にすることを、始業式で子ども達と共有しました。

自分も人も
大切にす

自分で考え
て行動す

しあわせを感
じられる人
になる

これからは多様性の時代。
自分から人とつながることで、自分が困った時に代わりに「助けて」と言えるようになり、相手はどうだろうか、想像できるようになる。そして、共によりよい方向に向かう前向きさにつながる。

すべての学力の源である「主体性」。
だれかにやってもらう、きめてもらうばかりだと、うまくいかなかった時に、人のせいにしてしまう自分になる。自らチャレンジし、失敗をやり直せる、ピンチを切り抜ける力こそが真の成長につながる。

楽しく生きるため「感謝」。
ほしいものが2つあって、その一つを手にした時に、「一つしか手に入らなかった」と思うか、「一つでも手に入ってよかった」と思うか。幸せの感じ方は自分の考え方しだい。感謝の気持ちが、充実した日常につながる。

そして、最後の一つは自分で決めます。必ず継続できることが条件です。

私は、「1日1回はやさしさを配る」にしました。新しく来られた先生方にも聞いてみました。

先生は、「失敗してもあきらめない！ねばり強くがんばる！」と教えてくださいました。全校生分の心を集めて、学校中に幸せの花、幸せのクローバーを咲かせていきたいと思えます。ご家庭でも話題にしていただければうれしいです。



新型コロナウイルス感染症対応について

文部科学省からの通知を受け、基本的な感染対策（常時換気、大声での会話は控える、触れ合わない程度の距離の確保等）は継続しつつ、マスク着用については、個人の主体的な判断を尊重し、「マスクの着用を求めないことを基本」とします。

したがって、学校や職員が、マスクの着脱を強いることはありません。また、マスクの着用の有無による差別や偏見等がないように留意します。



◇教職員紹介◇ * 氏名に下線がある者が、本年度転入した教職員です。

よろしくお願ひします

番号	学年組	氏名	番号	担当等	氏名
1	校長		19	音楽科専科 少人数指導	
2	教頭		20	社会科専科	
3	1 松		21	養護助教諭	
4	1 竹		22	学校支援	
5	2 松		23	特別支援	
6	2 竹		24	生活支援員	
7	3 松		25	生活支援員	
8	3 竹		26	生活支援員	
9	4 松		27	生活支援員	
10	4 竹		28	生活支援員	
11	5 松		29	生活支援員	
12	5 竹		30	事務主任	
13	6 松		31	主事	
14	6 竹		32	用務員	
15	松組				
16	竹1組				
17	竹2組				
18	梅組				



別紙（4月14日付 令和5年度 自宅確認・通学路確認について）の通り、年度当初において、お子様やご家族の状況など、新学級担任に伝えておきたいこと等がありましたら、日程調整をして個人面談を行いますので、担任までお申し出ください。



※次号で、入学式の様子、5月の予定をお伝えします。（4月下旬発行予定）